



オアシス

文責：学長
桑原雅次

出雲芸術アカデミーだより 2026年1月23日発行 第86号

大寒波の襲来で積雪の量が気になるところです。新しい年を迎え本アカデミーも今年度の終盤となり、各講座はファミリーコンサートのステージ発表に向けて気持ちが盛り上がっていることと思います。

今年は国際大会が目白押しです。ワールドベースボールクラシック（WBC）、サッカーワールドカップ、そして直前には冬季オリンピック・パラリンピックが開催されます。数ある国際大会の中で、昨年開催されたデフリンピックが気になりました。デフリンピックとは聴覚に障がいのある方による競技大会のことですが、なぜ聴覚だけがパラリンピックと区別されているのだろうと不思議な思いでした。競技がフェアに出来ない理由があるのだと思いますが、そもそも「ショウガイ」という言葉そのものに私は引っ掛かるのです…。パーフェクトな人間は存在しないと思うのですが、なぜ障がいのある方と決めつけるのか疑問を感じてしまいます。その疑問はデフリンピックを視聴していた時、自分自身に置き換えると「手話」が全く分かりません…。「外国語」も全然ダメです…。高齢になるにつれ、だんだん身体の動作が不自由になり物忘れも多くなります。そうするとそこに障がいのある私がいる事になります。私だけでなく世の中にパーフェクトな人間はいないのであれば、「ショウガイ」という言葉は必要ないような気がしてなりません…。考え方が偏りすぎるのでしょうか…？

IZUMOpera コーナー

出雲芸術アカデミーは、今年度で創設20周年を迎えました。例年、年度末に各講座の発表ステージとして「ファミリーコンサート」を開催していますが、今回は20周年記念演奏会として開催いたします。そのコンサートへ向けてのチラシが完成し、売り券、PR等が本格的に始まります。ステージに立つ側も本番に向けての気持ちのギアが一段と上がってくるものと思われます。このコンサートは、二日間にわたって開催いたしますので、内容について大まかですがお知らせします。なお、詳細については、本アカデミーのホームページ及び本コンサートのチラシ等でご確認ください。

●『うららかな春のア〜ット・ホームな音楽会』

「大人も子どももココロはずむスプリングコンサート」として開催します。このコンサートは、「生涯楽修コース」の集大成として開催するものです。このコースの出演講座は、「親子音楽入門（うたなかま）」、「キッズ音楽入門（はじめの一步ⅠⅡⅢ）」、「邦楽合奏（箏）」、「コーラス・レパートリー」が、今年度それぞれに取り組んできたことを発表します。また、指導者の皆さんによる「iPhil チェンバーオーケストラ（アンサンブル）」の出演もあり、本コ

ンサートに花を添えていただきます。そして、昨年11月から特別講座として開講した「サクソフォン」講座並びに「ユーフォニアム」講座の皆さんによるステージ発表もあります。

期日：令和8年（2026年）3月28日（土）14:00 開演

会場：大社文化うらら館 だんだんホール

入場料：800円（就学前のお子様無料～要整理券）

出演：生涯楽修コース受講生及び特別講座受講生の皆さん

●『出雲フィルハーモニック プロムナード・コンサート』

2日目に行われるコンサートは、「舞台芸術創造コース」のステージです。このコンサートの出演者は、「Jr.コーラス」、「Jr.オーケストラ」、「オペラ合唱団（クワコロ）」、「交響楽団（オーケストラ・レパートリー）」の各講座で学んでいる皆さんです。全プログラムの指揮は、本アカデミーの芸術監督でもある中井章徳氏が行います。各楽曲の分かりやすい説明も含め午後のひとときをお楽しみください。また、コンサートの前には、Jr.弦楽合奏によるウェルカムステージも計画していますのでお早めにご来場ください。

期日：令和8年（2026年）3月29日（日）14:00 開演

会場：大社文化プレイスうらら館 だんだんホール

入場料：一般 1,200円、高校生以下 800円（4月入学児童を含む小学生から入場可）

出演者：舞台芸術創造コース受講生の皆さん

フォトギャラリー

◆ファミリーコンサートへ向けて！

